

## 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

日本を巡る環境はこの1年なかなか大変でした。ただ、昨年の中頃には日本経済もEU経済も大変厳しい状況にあり、世界経済全体がどうにかなってしまうのではないかという不安を覚えました。EUはぎりぎりのところで団結力を発揮して市場の信頼を回復することが出来、日本も底力を示して何とか持ちこたえてきました。

その過程で去る11月、日本とEUの経済連携協定締結のための交渉が開始されることになったことは明るいニュースです。交渉開始までの道のりも大変でしたが、世界のGDPの3割をカバーすることになる協定ですから交渉決着への道のりは更に険しいものとなるでしょう。日本政府としてはEU内で様々な規制や時には理不尽な扱いを受けて苦勞しておられる日本企業の皆様の状況を出来る限り改善すべく具体的な要求を突きつけていきたいと思っておりますので忌憚のないご意見やご希望をお聞かせいただければ幸いです。

文化面ではオーストリアにおける日本の人気が続いて高まっていると思います。ウィーン大学日本学科では入学者が年々増えており、昨秋の新入生は200名に達したとのこと。日本について学ぶことは就職面ではそれほど有利ではないと思いますので日本文化の人気を反映したものと見て間違いありません。また、大使館としましては引き続き皆様のご協力を得ながら文化交流活動を活発に行い、日本経済の活性化にもつながるような日本の魅力売り込みに努力していきたいと思っております。<br />2020年の東京オリンピック開催実現もこの9月が正念場となります。賛同いただける皆様の力をお借りして雰囲気盛り上げていきたいと思っております。<br />最後に、皆様の本年のご多幸をお祈りして年頭のご挨拶と致します。

2013年1月1日  
岩谷 滋雄